

団体名(正式名称)

公益財団法人 オイスカ



代表者名	理事長 中野悦子
担当者名	GSM担当部長 吉田俊通
住所	〒981-1201 宮城県名取市下増田字北原東478
電話番号	070-5550-7394
FAX番号	022-395-7817
HPアドレス	https://oisca.org/
SNSアカウント	下部に掲載の二次元バーコードのとおり
代表メールアドレス	kaiganrin@oisca.org
交通アクセス	仙台空港アクセス線「美田園」駅から徒歩25分 *送迎あり
職員数	常勤職員81名 その他 42名(非常勤職員)
団体の理念	「すべての人々がさまざまな違いを乗り越えて共存し、地球上のあらゆる生命の基盤を守り育てようとする世界」を目指して、主にアジア太平洋地域で農村開発や環境保全活動を展開しています。この理念を実現する道としてオイスカが選んだのは「人材の育成」です。それぞれの民族が持つ歴史や文化、宗教などの違いを理解し尊重したうえで技術を伝えなければ、技術の種はその地に根を張ることはありません。大自然の摂理に基づく土づくりから始まる、その地に合った環境保全型の農業や産業を基本とします。この農村開発の実践を通してオイスカは、大地の恵みを知り自然と共に生きることの大切さを共有できる人を育みます。
団体の活動内容	主にアジア・太平洋地域で農村開発、環境保全、環境教育活動を展開。特に人材育成に力を入れ、各国の青年が地域のリーダーとなるよう、国内外の研修センターで農業などの研修を行っています。また国内では、農林業体験セミナー開催などを通して、啓発活動や植林及び森林整備による環境保全活動を展開しています。



Youtube



Facebook



X



Instagram

公益財団法人 オイスカ

プログラム名	海岸林再生プロジェクト		
インターン生の活動内容(概要)	<p>名取市海岸防災林全長5km×幅200m、クロマツ37万本の「育林作業」のために、年間30回、金土を中心に(平日もあり)、約1,200名前後の8時間現場従事ボランティアが県内外から来訪します。オイスカ職員や地元ベテランボランティアとともに、前日準備・下見、当日の作業運営の補助をします。その終了後、活動ブログにレポートを書くことまでがルーチンです。また、名取駅などでの写真展開催や、年2・3回程度オンラインイベント(活動報告)の企画実施もお願いしています。今年10月4・5日は「全国育樹祭」が宮城県で開催され、4日には県主催の視察ツアー&海岸林シンポジウムが名取で開催予定で、その実施にも協力します。</p>		
	フィールドワーク	<input checked="" type="checkbox"/>	あり
インターン生の活動内容(詳細)	<p>職員らとともに現場100ha全体の巡視・点検、ボランティア受け入れ事前準備、当日運営補助、安全管理、写真動画撮影などを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月～10月中旬:「葛刈り等」作業と運営補助 ・10月4・5日:全国育樹祭対応 ・10月中旬～11月中旬:生長モニタリング調査(樹高・胸高直径計測、撮影) ・その他、HPブログでの報告・写真展開催・活動報告会など <p>※男女不問(これまでのインターンは女性3名、男性2名)。学校の専攻との関連、専門知識、経験も不問。オフィスワーク・テレワークはあまりありません。</p>		
インターン活動で得られるもの	<ul style="list-style-type: none"> ・机上論ではない復興現場最前線に立つことで、プロジェクトの運営手法やNGOでの働き方の実際、そして、野外現場での立ち居振る舞い、震災復興や森林再生の知識・経験を得ることができます。 ・全国から来るとても多くの人と会うことができるのが最大の特徴の一つ。国内外のスタッフ、支援者まで、広範なネットワーク・幅広い年齢層の中で、極めて多くの人との新たな出会いや、ご自身の成長につなげることができる。コミュニケーション力や人間力、社会人の基本の「ほうれんそう」(報告・連絡・相談)を鍛えることができる。 ・実体感を感じながら、まさに震災復興の一端を担うことができる。 <p>※四季を通じ、様々な動植物にも出会えます。</p>		
インターン生への希望・期待	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで15年間、一人でも多くの若い人たちに、震災復興の現場を経験していただきたいと努力してきました。しかし、400年前から存在しながら大人にもその重要性を知られていない海岸防災林再生事業という知名度の低さや、気軽に行ける街中ではない立地環境のせいもあり、期待とは裏腹に必ずしも若い人がたくさん来ているとは言えない状況です。それゆえ若い世代に向けて、肩ひじ張らずご自身が経験したことを、SNSやHPブログ、オンラインイベント企画などで素直に発信していただくことを期待します。このプロジェクトの最大の特徴の一つは、様々な業種の、非常に多くのボランティアが訪れることです。その方たちと楽しみながら労苦を共にすることそのものが、プロジェクトの活気にもつながります。思い切って挑戦してください。 ・これまで人によっては、通常のインターン活動と並行して、大学の専攻や個人の関心によって独自のテーマを追及し、学業などに反映させたケースもありました。 		
活動時間	<p>金曜・土曜日を中心に(稀にその他の平日もあり)、8:30～17:30の間で、活動時間単位は終日もしくは半日。帰宅後、HPブログに写真付きで実施報告を書いていただきます。無理のない範囲で、個人としてSNSなども活用してプロジェクトの様子を発信いただけたら、ありがたいです。月に数日、コンスタントに来てくださる方を希望します。</p>		
特記事項	<p>7月上・中旬、9月、10月上旬、11月上・中旬が最繁忙期です。7月下旬～8月下旬は酷暑のため、葛刈りの進捗確認調査(徒歩)・巡視・点検を除き、野外ボランティア作業受け入れは原則見送っています。現場の最寄り駅は仙台空港アクセス線「美田園」駅です。職員が送迎できます。(駅から名取事務所は徒歩25分)。食事は自己負担です。</p>		